

花のデオサイ高原とパキスタン北部大紀行

～カラシュ族の収穫祭「ウチャウ」に参加する旅



ご旅行期間とご旅行代金 [旅行代金にて燃油サーチャージが含まれております]
 2024年8月14日(水)発～8月25日(日)着…¥688,000 お一人部屋追加料金¥67,000

デオサイ高原(イメージ)



秘境チトラルのカラシュ族(カラーシャ族)

ヒンドゥークシュ山脈の麓に位置するかつてのチトラル王国の秘境・ボンポリットの3つの谷に暮らすカフィール・カラシュ族。彼らは現在でも町から遠く離れたヒンドゥークシュの山間で、イスラム教徒やキリスト教徒とは異なり、謎に包まれたその起源を持ち、異教徒的な暮らしをしています。

彼らが自ら名の「カラシュ(カラーシャ)」とはペルシャ語で「極度に貧しき者」「持たざる者」の意味で、「カフィール」とは無信仰者を意味します。ペルシャ世界の人たちから見れば、イスラムでも、ヒンドゥーでも、ゾロアスターでもない不思議な人たちだったのです。チトラルはカフィールに由来し、別名をカフィリスタンとも呼ばれます。彼らの起源については何も確かなことは分かっていますが、ある部族は紀元前327年にこの地に侵入し、ギリシャに帰らなかったアレキサンダー大王の軍隊の子孫だと主張しています。ある部族はイスラムの到来以前にアラビアからやって来たと言い、またある部族はアフガニスタンからの移民であると主張しています。近年、ギリシャの団体が事務所を置き、2,000年以上の時を超えた同じ民族の交流が始められています。現在のカラシュ族はビリー、ランプレット、ランブルの3つの谷に約3,000人が20の村を形成しています。命ある動植物の全てや収穫に対する信仰を含めた多神教を信奉し、音楽と踊りを愛し、季節のお祭りごとに異なる踊りを楽しみます。

今回は8月中旬に3日間行われる「ウチャウ」という豊年を祝う収穫祭に合わせました。カラフルな衣装で踊る様子や賑やかな村の雰囲気をお楽しみください。



カラシュ族の女性たち



全行程

ベテラン日本語ガイドのアズマツさん同行



ご旅行条件

- 募集人数/12名様限定
- 最少催行人数/8名様
- お食事/朝食9回・昼食10回・夕食10回
- パキスタン査証料・同取得手数料/¥9,850(別途必要)
- 査証用写真/2枚要[4.5cm×3.5cm・カラー・背景:白・スビード写真不可]
- 旅券残存期間/6カ月以上/査証欄1ページ要
- パスポートを事前にお預かりします。
- 千歳空港利用料/¥2,610(別途必要)
- 国際観光旅客税/¥1,000(別途必要)
- 海外空港税・出国税/旅行代金に含まれています。
- 千歳空港より全行程、社員添乗員同行
- トラック往復無料託送サービス[ご自宅～空港～ご自宅]
- ビジネスクラスご希望の方はお問い合わせください。

ご利用ホテル

- イスラマバード/ヒル・ビューホテル、ルーミー・シグニチャー、レジェンドホテル
- スカルドゥ/カリスト・ホテル、レジェントホテル、ロカルホテル
- カリマバード/ヒル・トップホテル、ダルバル・ホテル、レジェントホテル
- グビス/プロッサム・イン、ジザブプロッサム・イン
- マストゥージ/バスト・ウエスタン・ホテル、ヒンドゥクシュ・ハイツ・ホテル
- ボンポリット/カラシュ・コンチネンタル・ホテル、アレキサンダーホテル



パサー氷河



デコトラ

	都市名	スケジュールと見どころ/お食事と宿泊地
1	千歳 バンコク イスラマバード	【スーツケース無料託送サービス 自宅～空港】 ■午前、千歳空港より、タイ国際航空にて、バンコクへ[10:00発]。 ■バンコク到着後、タイ国際航空を乗継ぎ、パキスタンのイスラマバードへ[22:10着]。 [✈] [✈] [✈] [イスラマバード泊]
2	イスラマバード スカルドゥ 寒地砂漠	■午前、航空機にて、インダス川とシガル川との合流地点スカルドゥへ(注)。 ■着後、専用バスにて、湖面に雄大な山々が映るカチュール湖を見学。 ■その後、シガル渓谷の入口・サルフランガ寒冷地砂漠(海拔2,500m)へ。 雪の高山に囲まれた砂丘の絶景をお楽しみください。 ◀スカルドゥに連泊です▶ [○] [○] [○] [スカルドゥ泊]
3	スカルドゥ デオサイ高原 (シュエサル湖)	■朝、ジープにて色鮮やかなデオサイ高原(海拔4,100m)へ。 ■着後、高山植物が満開のデオサイ高原で、写真を撮ったり、散策したりと存分にお楽しみいただきます。雄大なナンガパルバット峰、シュエサル湖、そして吊り橋を渡り、高原の奥に広がる360°のヒマラヤ山脈のパノラマもご覧いただけます。可愛いマーマットにも出会えるチャンスです。 ■その後、サトバラ湖やサトバラ仏陀岩刻画へご案内します。 [○] [○] [○] [スカルドゥ泊]
4	スカルドゥ カリマバード	■午前、専用バスにて、カラコルム・ハイウェイを走り、フンザの中心地で、ウルタル峰[7388m]、ディラン峰[7273m]などパミールの高峰に囲まれた上フンザに位置するフンザの里・カリマバード(海拔2,434m)へ。 ■途中、ラカボシ・ピーク[7,788m]のビューポイントに立ち寄ります ■着後、バルチット故城の訪問や、バザールの散策などフンザの里の散策をお楽しみください。 ◀フンザの谷・カリマバードに連泊です▶ [○] [○] [○] [カリマバード泊]
5	カリマバード グルミット/バス クンジュラフ峠	■午前、専用バスにて、2010年に土砂に堰き止められてきたアッタバード湖や伝統的な家が多く残るグルミット村、カールンホー山群を眺むバスへご案内します。 ■午後、中バ公路を走り、中国との国境にあるクンジュラフ峠(海拔4,943m)へ。 ■夕刻、カリマバードへ戻ります。 [○] [○] [○] [カリマバード泊]
6	カリマバード (ドゥイカル村)	■早朝、ジープにてフンザを見下ろすドゥイカル村の高台(サンライズのビューポイント)へご案内します。朝日に照らされる「ゴールデン・ピーク」、「スリーピング・ビューティー」、「レディー・フィンガー」など、カラコルムの7,000m級の山々をお楽しみください。 ■午前、ハセガワ・メモリアルスクールに立寄ったのち、フンザ川沿いにカラコルム・ハイウェイを走り、ギルギットへ。 ■午後、緑の繁るシェールキラ村を経由し、雪山を眺めながら渓谷を走り、かつての小国・グビスへ。 [○] [○] [○] [グビス泊]
7	グビス パンダール湖 シャンドール湖 シャンドール峠	■午前、ギザル川沿いに走り、『小カシミール』と呼ばれるなだらかな平地にて、氷河が作った青く美しいパンダール湖をご観覧いただきます。 ■午後、緑の草地を走り、シュカルガー村から5,000m級の山々とその影を湖面に映すシャンドール湖へ。その後、シャンドール峠(海拔3,720m)を越え、中央アジアの雰囲気漂うかつての独立国・マストゥージへ。 [○] [○] [○] [マストゥージ泊]
8	マストゥージ マストゥージ	■午前、マストゥージ川に沿って、古来から使われてきたインドへの道を通り、パキスタン北西辺境州最西端の山中にある、かつての独立国・秘境チトラルへ。お天気が良ければ、ヒンドゥークシュ山脈最高峰、標高7,760mのトリチミール峰の雄姿もご覧いただけます。 ■その後、チトラル王国のボンポリットの谷へ。 ■この日からカラシュ族のお祭りが始まります。 ◀チトラルのボンポリットに連泊です▶ [○] [○] [○] [ボンポリット泊]
9	ボンポリット	■終日、ボンポリットの谷で行われる豊年を祝う収穫祭「ウチャウ」をお楽しみください。 ■色鮮やかな衣装を身にまとい、伝統的な音楽や踊りを楽しむ様子をご覧ください。 [○] [○] [○] [ボンポリット泊]
10	ボンポリット チトラル イスラマバード	■午前、ジープにてチトラルへ戻ります。 ■その後、専用バスにて、イスラマバードへ戻ります(所要時間:約10時間)。 ■夕刻、イスラマバード到着後、タイ航空にて、バンコクへ[23:45発]。 [○] [○] [○] [機中泊]
11	バンコク	■朝、バンコク到着後[06:25着]、入国審査ののち、水上マーケットを見学します。 ■昼食後、ホテルにて休憩です。 ■夜、タイ国際航空にて、帰国の途へ[23:45発]。 [✈] [○] [○] [機中泊]
12	千歳	■午前、千歳空港到着[08:30着]。入国審査ののち、解散。 【スーツケース無料託送サービス 空港～ご自宅】 [✈] [✈] [✈]

※表記の時間は、すべて現地時間での表示です。
 ※表記の「○」はお食事の有を示します。「✈」は機内食、「×」の食事は含まれておりません。
 (注)イスラマバード-スカルドゥの航空機が欠航になった際は、陸路でスカルドゥへ走ります。その場合、途中で一か所宿泊するので、スカルドゥは1泊となります。



シャンドール湖

南米 ヨーロッパ アジア 中東 国内 その他